

2. 収支報告

単位:円

		事業計画A	事業実績B	A-B	前年度実績	備考
収入	利用料金収入	35,000,000	29,394,525	5,605,475	34,744,625	
	自主事業収入	6,500,000	5,577,300	922,700	6,007,680	
	物品販売収入	700,000	768,074	-68,074	697,678	
	指定管理料	71,296,296	71,296,296	0	71,820,435	
	その他収入	3,500,000	2,745,534	754,466	1,820,799	
	収入総額	116,996,296	109,781,729	7,214,567	115,091,217	
支出	人件費	32,000,000	36,039,271	-4,039,271	31,052,620	
	事務費	2,200,000	3,336,742	-1,136,742	2,253,071	
	管理費	44,000,000	35,110,240	8,889,760	44,171,249	
	自主事業経費	6,500,000	4,385,800	2,114,200	6,351,637	
	光熱水費	19,000,000	13,912,585	5,087,415	18,158,520	
	リース料	500,000	435,472	64,528	462,108	
	その他	10,000,000	14,461,387	-4,461,387	10,283,929	
	支出総額	114,200,000	107,681,497	6,518,503	112,733,134	0
収支差額	2,796,296	2,100,232	696,064	2,358,083	0	

3. 総合評価

自己評価 95点

指定管理業務がスタートして4年目。昨年3月から新型コロナウイルス感染拡大防止による緊急事態宣言(4・5月度休館)や体育館の個人利用の人数制限、寺ヶ池公園プール休場等もあり、利用収入は大幅に未達に終わりました。

(1) 収支面について
収入では、昨年比で約530万減であったが、支出では寺ヶ池公園プールが休場となり、例年かかる管理費が約780万を縮減できた。緊急事態宣言解除後は、体育館ではコロナ感染拡大予防の為、館内アルコール消毒業務を強化。そのため人員の補充が必要となり、支出面で人件費が増加しました。

(2) 自主事業について
●体育館では ①トレーニング講習会:年間20回開催。延べ184名が受講されました。コロナにより4回中止。②モビバン健康体操教室:体験会を含め13回開催し、延べ108名参加。③リズムトレーニング教室:体験会5回開催し、延べ48名参加。④インボディ測定会を実施:期間限定で延べ93名が測定。インストラクターがアドバイス。⑤ノルディックウォーキング教室(寺ヶ池公園):春2回が中止。秋3回開催し、延べ11名参加。92歳の方が、毎回参加していただきました。
●下里では SSKスペシャルサッカースクール開催 ①スペース(5・6年生):会員数最多43名。②ゴールキーパー:会員数最多16名。③大人のサッカースクール:年間31日開催、延べ324名参加。④ブレスク(3・4年生)新規:会員数最多25名。コロナの影響により、企画していた卓球講習会、バドミントン講習会、野球講習会等ができなかったのが残念です。

(3) 第三者業務委託(施設管理・防災・防犯・電気・清掃・警備等)について
体育館事務所では、委託業者と連携を密にし、コロナ禍の中でより一層、施設を安全・安心にご利用いただける様、気を配り運営しております。屋内・屋外共に施設の消毒、清掃、警備、巡回、整備、修理箇所、危険な箇所の把握、情報収集に努めています。

(4) 事故・苦情・要望等の対応について
体育館では救急搬送を依頼したのは4件。(体育館/2件、赤峰市民広場/2件)スタッフや関係者の迅速かつ適切な応急処置等で問題なく対処できております。利用者や市から指摘のあった、各施設の不具合、修理、要望については、できる限り迅速に当方の熟練スタッフで対応。できない場合は市と相談し対応。施設利用者、近隣の方々からの苦情は、速やかに対応しており、市に苦情があった場合も、勘れることなく対応できております。

(5) コロナ禍での管理・運営
休館中(4・5月)は、全施設が閉鎖されている時にしかできない作業を行いました。4月・5月の業務報告書に記載(体育館内外の清掃・補修・修理・整備等)。閉館後は、施設を安全・安心にご利用いただける様に屋外・屋内ともにアルコール消毒液を設置。また利用者把握のために利用者カードの記入をお願いし、コロナ感染拡大防止対策の告知を徹底。体育館では、日々、アリーナ観覧席、センターホールの長椅子、トレーニング室内の器具等のアルコール消毒を行い、告知ボード(デジタルサイネージ)、非接触型体温計、トレーニング室・卓球室には二酸化炭素濃度計を設置するなど、市と連携してコロナ感染防止対策に取り組んでおります。

(6) 次年度への課題
①施設の老朽化に伴い、今期も、利用者、市、施設近隣の方々、管理者からの補修、修繕の要望が多く、100件以上の補修、修繕、交換等行い、例年以上に消耗品費や修繕費が増えています。市民の皆様が気持ちよく、安全・安心にご利用いただけることを第一に考え取り組んでまいりました。今後も引き続きスタッフ一丸となって取り組んでまいります。
②体育館の既設空調の不具合。リニューアルから20年。頻繁に不具合が発生。交換部品が底をつき、綱渡り状況である。
③市々指定管理者や振興会との連携を密にし、引き続き河内長野市のスポーツ振興に取り組めます。また、新型コロナウイルス感染拡大防止に努め、三者と利用者とはタッグを組み、コロナ禍を乗り切っていくことが重要となります。

令和2年度は、河内長野市SSKクリーン工房共同事業体による指定管理業務が4年目となり、前年度に引き続いて、午後9時までの窓口受付の対応や、トレーニング専任スタッフの常駐、自主事業の継続実施等、利用者の利便性向上や市内スポーツ施設のイメージアップ及び新規利用者の増加につながる取り組みを数多く実施いただき、大きく評価しています。

特に新型コロナウイルス感染症防止対策については、利用者が安心して施設を利用できるよう、適切な管理運営に努めてくれたと考えています。中でも、トレーニングルームや卓球場等の感染リスクが比較的高い施設において、器具を間引いたり、適宜、消毒作業を実施する等、市の新型コロナウイルス関連肺炎対策本部会議の対応方針を十分に理解し、管理者側で創意工夫しながら、円滑に管理体制を構築してくれたことは非常に感謝しています。また、感染対策として、非接触型体温計や二酸化炭素濃度計等を指定管理者として独自で導入する等、コロナ禍における施設管理に積極的に取り組んでくれたことも評価しています。

日常の修繕や管理においても、営繕担当スタッフを中心に、利用者の声を第一に、迅速かつ丁寧に対応していたと認識しています。今後も、施設の管理運営には新型コロナウイルス感染症防止対策の継続が必要不可欠と思われるので、市と随時、情報共有を図りながら、民間企業の特色を活かしたスポーツ施設の効率的な管理運営を行ってもらうことを期待します。